

小学校5・6年生～

2021年6月 no.78

よんでネット* 2021 夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

『琉球という国があった』



うえざと たかし とみやまよし のり いちのせき けい
上里隆史文 富山義則写真 ニノ関圭絵

おきなわ
沖縄は140年前まで、「琉球王国」という
どくりつ こく
独立国でした。琉球王国は東南アジアの国々や
中国を相手に貿易で大変栄えていました。
なぜ小さな島国にそんなことができたのでしょうか？
ひかしむかし おきなわ
昔々の沖縄の歴史をたどり、その秘密にせまり
ます。

2019年に焼失してしまった首里城の
美しい写真も載っています

福音館書店 [21ウ]

『黄金リゅうと天女』 代田昇文 赤羽末吉絵

いげ る ま かなー
昔、沖縄の慶留間島に可愛とよばれる、たい
そう可愛らしい女の子がいた。一度聞けば なんでも
覚えるかしこい子と評判だった。ところが七歳に
なった朝、可愛は突然現れた黄金色のリゅうの
背中に乗って消えてしまう。それから数年後、
とつぜん やまと かいぞく
突然大和の海賊が現れ、島に襲いかかる。
そこへ可愛を乗せた黄金竜がうなりをたてて
現れた。



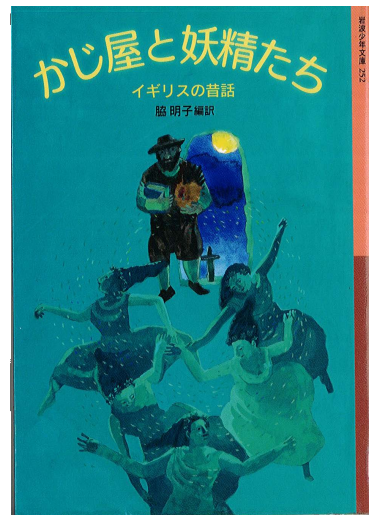
B.L出版
[E・絵本のコーナー]

『かじ屋と妖精たち イギリスの昔話』

岩波少年文庫

脇明子編訳

ゆかいなお話、ふしぎなお話、ニわくてドキドキする
お話…。イギリスには昔話がたくさんあります。
この本には有名な「ジャックと豆の木」をはじめ、
神秘的な妖精のでてくる「チューリップ畑」や、大冒険の
「鳥の合戦」など、選りすぐった31のお話が集められて
います。声に出して読んでも、楽しいですよ。



岩波書店 [9081]

『グロッソロジー きたないもの学 からだのふしぎ』 シルビア・ブランゼイ 文

ジャック・キーリー 絵 藤田紘一郎 訳



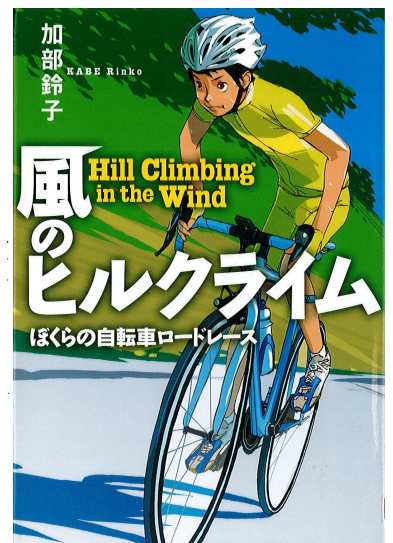
夏になると汗^{あせ}がでる。足もくさくなるし、ニキビも
ふえる。体から出るものってヤツカイだね。でも、
私たちは汗をかくことで体温^{ちようせい}を調整^{ていせい}できる。
体から出るもので小さな細菌^{さいきん}と共存^{きゆうぜん}もする。
体から出るものにはみんな理由^{りゆう}があってヌレヌレ
したり、くさかったりするんだ。
きたないもの学は奥^{おく}が深い！

講談社 [497]

『風のヒルクライム ぼくらの自転車ロードレース』

加部鈴子

13歳の誕生日に突然^{とつぜん}父の趣味^{しゅみ}のロードバイクを贈^{おく}られ、
しかも勝手にレースにエントリーされていた涼太^{りょうた}。父は
いつも一方的で気持ちはずれ違うばかり。だが反発^{はんぱつ}
しながらも涼太は「完走できたら涼太の言うことを何でも
聞く」という父の言葉で走り通すことを決心する。
そしてレース当日、涼太は父と2人でスタートの合図を
待っていた。



岩崎書店 [913カ]